

平成 18 年度第 2 回(第 171 回) 備中地区司書部会

日 時：平成 18 年 7 月 7 日(金) 10:00～16:00

場 所：岡山県立倉敷工業高等学校

参加人数：19 名

司会進行：倉敷天城 加藤省子 ， 倉敷古城池 坂口桂蔵

記 録：笠岡高校 坂永尚子

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

平成 18 年度全国図書館大会（岡山大会）発表について

「生徒が中心の図書館活動について」

広報、展示、イベントのグループ毎に一学期中に行った生徒が参加する図書館の取り組みで班の代表となる実践を選出し、その実践に関わる具体的な内容（取り組みの方法、効果、失敗点等）を報告し合った。

・ 広報

「オススメ度と広報紙の連携」等

広報紙は展示との違いも明確に。校内放送、切り取りなどは。
以下の展示・イベントの正否を決めるものとしての位置づけもある。

・ 展示

「書き込み掲示板」

同年代の生徒からのお薦めを注目が集まるよう展示する。→図書委員（生徒）からの新たな本の情報提示や生徒同士での情報のやり取りから貸し出しにつながるのか。

欲求から行動に移すことが難しい、または個人が特定されるのがいやなためか参加者が限定される。掲示板の趣向を短期間で回転させる、または清書やインタビュー形式とすることで解消できないか。

生徒自身に図書館活動に参加している！と思わせたい。利用者が参加できる図書館では利用者たる生徒個人が成長し、同じように図書館が進化することにつながるのではないか。

・ イベント

「しおりコンテスト」「図書館クイズ大会」

利用者たる生徒が実際に動くことで、新しい発見をしてもらう。

ターゲットは明確に設定し、内輪ウケに終わらないよう注意すること。

図書館と生徒との距離を縮められるようなもの、自主的に参加したくなるイベントを計画する。そのためにはやはり企画段階から生徒の参加が不可欠と思われる。

→→→ 発表にむけて完成されたものを次回の研修会にて報告する。

3. 研修

「私のすすめるこの一冊」のテーマについて

…次回のテーマ案検討、「食に関する本」 に決定

(他の候補 「図書館についての本」「色に関する本」「マンガ」「泣ける本」「感動する本」)

4. その他

・理事会からの報告（倉敷古城池：坂口）

1) 総会資料「平成 17 年度決算報告」について

決算が出せない(管理されている方が亡くなったため)ので、空白のまま提出。

後日、金額が明らかになった場合は、その時に決算。

2) 総会資料「平成 18 年度活動方針・事業計画」(案)について

⑥⑦追加

・学校図書館システムネットワークについて

学校間のやりとりについて提案のよびかけ（倉敷天城：加藤）